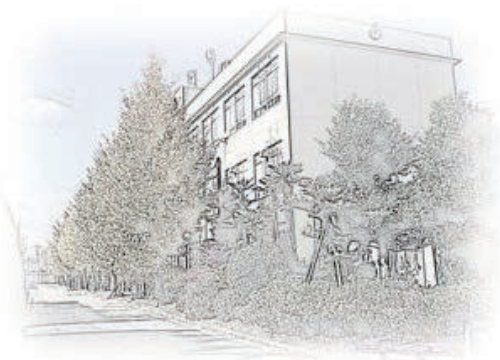


中村

発行 中村会（愛知県立中村高等学校同窓会）



「ご挨拶」

令和6・7年度 中村会会長 太田 守彦



「中村会」会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今年はNHKの大河ドラマ「豊臣兄弟」の放映により、中村の地が全国的に注目されており、遠方にお住まいの同窓生の皆さんも「中村高校」を懐かしく思い出されるのではないかと思います。近年、社会情勢は目まぐるしく変化していますが、変わらないのは「同じ学び舎で過ごした」という共有の財産です。

現在、同窓会では役員の若返りと、同窓会への関心をより多くの会員に持って頂けるよう取り組んでいます。2025年度は50回生以降の役員を新たに迎える事ができたとともに、総会開催日に実施した「中村高校見学会」にも多数の参加をいただく事ができ、同窓会活動を知って頂くきっかけにはなったのではないかと思います。

とは言え課題が払拭されるまでには至っておりません。

過去に役員を経験された方、新たに同窓会の存在を知った方、母校について関心を持っている方など、是非積極的に同窓会活動に参加して頂ければ幸いです。どんな組織においても、遠くから見守るだけでは衰退していくものだと感じています。

2026年度も引き続き「中村高校見学会、総会、講演会、懇親会」を開催致します。また、新設した「英気の泉基金」への募金も含め、少しでも「中村会」に参加して頂ければうれしく思います。

お願いばかりになってしまいましたが、同窓会活動へ引き続きご支援を賜りながら「中村会」がさらに発展するよう務めていきたいと思っております。

「中村」第23号に 寄せて

愛知県立中村高等学校長 河野 健治



中村会の皆様には、日頃より母校の教育活動に対して多大な御支援と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。令和7年4月より校長を務めております河野健治と申します。昨年度までは教頭を務めておりました。中村高校の充実と発展のために、引き続き誠心誠意努めてまいります所存でございます。御指導御鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

さて、日頃から御支援いただいている件に加え、本年度は中村会の皆様から、授業で使用するプロジェクター9台とプロジェクタースタンド27台を寄贈していただきました。おかげをもちまして県から配備されているものと合わせ、プロジェクターを全教室に配備する態勢が整いました。授業前の準備の手間が大幅に少なくなり、授業の効率がますます改善されることとなります。心より感謝申し上げます。生徒ともども大切に使用させていただきます。

本校では昨年度、校舎第2棟の長寿命化工事が完了しました。各教室の黒板がホワイトボードになり、照明がLED化され、明るい環境の中で教育活動が行われています。また、現在は体育館の改修工事が行われており、本年度内には完了する見込みです。少しずつではありますが着実に、教育環境の改善が進められております。

体育館工事の影響で本年度の学校祭は、体育祭を愛知県体育館で、文化祭オープニングを日本特殊陶業市民会館で行うことになりました。例年と事情が異なる部分もたくさんありましたが、生徒たちが自ら考え、自ら作る学校祭になり、「自主の庭」の精神を垣間見ることができました。

同じ時期に、姉妹校であるオーストラリア・メルボルンのメンター・ガールズ・セカンダリー・カレッジから19人の生徒が来校しました。コロナ禍をはさんで6年ぶりの来校でした。学校祭の準備から当日までともに携わりながら交流活動を行い、有意義な時間を過ごすことができました。少子化に伴い、普通科高校のさらなる魅力化・特色化が求められています。本校の特色の一つである「国際理解教育」にさらに磨きをかけるとともに、本校のもつ伝統や魅力をさまざまな方法で発信することにより、中村高校の持続的な発展につなげていければと考えております。

中村会の皆様には、今後も中村高校を暖かく見守り、応援して下さいますよう、お願い申し上げます。

令和7年度

中村会総会・講演会・懇親会が開催されました

令和7年5月17日（土）に中村会の総会と懇親会が開催されました。中村会は今年で創立70周年を迎えるということで、午前中には中村高校において母校見学も企画実施されました。

1 学校見学

約一時間にわたり、校舎内と体育館、武道場を見学しました。ここ数年で校舎の改装があったので昔の印象と違う雰囲気もある中、懐かしいとの声が多く聞かれました。時代によって教室の配置も異なり、職員室の上階に教室はなかったとか、生物室の北側には廊下があったとか、案内する側でも新たな発見があり驚きでもありました。何はともあれ、部活動で汗を流す現役の後輩たちの元気さに、感激された方も多く見受けられました。

2 総会、講演会、懇親会

(1) 総会

令和6年度の事業報告、決算報告、令和7年度の事業計画、予算について審議があり、無事認められました。若干の質疑応答がありました。

(2) 講演会

25回生 やまかわさとみさん（野口久さん）
「川と森と神に出会う日々」

やまかわさんは津島を拠点に、新作の能、狂言を製作

し、数多くの賞を受賞しています。その活動をとおして子どもたちの指導にも携わっています。知識の乏しい私たちに能、狂言の概説をしていただきました。

今年の初め、名古屋能楽堂においてやまかわさん製作の新作能「草薙神剣（くさなぎのみつるぎ）」が上演されました。スサノオノミコトからヤマトタケルの活躍を描きながら草薙の剣が熱田に納まるまでをひとつの絵地図でわかりやすく紹介されました。

やまかわさんは若いころに闘病して生還したとき「あなたを育てた山や川を大切に生きて」とのアドバイスをもとに、現在まで精力的に活動をされています。参観した会員からも文化の香り漂う素敵な講演会でしたとの感想が聞かれました。

(3) 懇親会

エルホールダイニング名古屋駅西口店
ルブラ王山から会場を変えての今年の会でした。駅西のわかりにくい場所でしたが、高いビルなので眺めも良く、遠くは神奈川県から来場、また高校卒業したばかりの会員も数人、そして常連の大先輩方もご列席となりました。途中火災報知器がなって騒然としたものの、誤報と分かり滞りなく宴会が進みました。



関東支部報告

令和7年度 関東支部総会が開催されました

中村会関東支部第12回懇親会を8月2日（土）に開催しました。

今回は名古屋から4名の参加者を迎え、気温40℃に近い猛暑の中で17名の方に参加していただきました。4月に着任された水谷教頭先生から中村高校の現状をお聞きすることができ、中村高校同窓会70周年の記念ポロシャツが2枚も売れるなど、参加者の喜びの声があふれる会になりました。

猛暑の中での開催はますます危険になりそうということで、2026年は10月3日（土）での開催を決定して、お開きとしました。次回も皆様のご参加をお待ちしております。



中村会関東支部支部長 浜田和久
幹事長 大西真吾

同期会報告

15回生同期会開催報告

令和7年3月2日（日）12時から、15回生の同期会を名古屋市千種区にある「ルブラ王山」で開催しました。15回生有志数人で発起人会を結成して開催したものでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大があって開催を急速中止したりしたこともあり、今回は実に10年ぶりの開催となりましたが、同期生は53名ご出席いただきました。ただし、昭和44年度3年生当時に担任・副担任だった恩師は、故人となられた方が多く、ご存命の方も体調不良などの理由でご出席が皆無だったのが残念でした。

会は発起人の桑原宏司の司会で始まり、代表発起人の宮崎晃吉が開会あいさつを述べた後、これまでに逝去された恩師や同期生のご冥福を祈って黙とうを行いました。そのあと発起人の佐藤元嗣の発声で献杯し宴会に入りました。

10年ぶりの開催なので、同期生同士の歓談!熱気がこもり時間が過ぎるのを早く感じました。開会から2時間30分経過したところで、高校在籍時に合唱部員だった宮崎晃吉の指揮により全員で中村高校の校歌を斉唱しました。

最後に、代表発起人の桜井吉晴が開会あいさつをしたあと、中村高校のますますの発展と出席者の健勝と多幸を祈念し万歳三唱をしてお開きとなりました。



15回生同期会代表発起人 桜井吉晴

古希を迎えた私たち

昨年私たちは70歳の古希を迎え、この人生の節目に同期会を催すことにしました。恩師4名、同窓会役員2名、そして同期生101名が参集しました。今回は開会前から多くの返信文が届きました。お互い古希になった同期との再会をことのほか楽しみにしているという言葉が幾つも頂きました。

当日も受付時から顔を見合わせるなり懐かしむ甲高い声が聞こえてきました。出席頂いた恩師の中には足が不自由でありながらも今日のためにお越し頂いた方もいらっしゃいました。乾杯の音頭とともに、食事も

そこそこに会場のあちらこちらで談笑する人の集まりが幾つも出来上がり、宴席は行き交う人でごった返していました。宴会時間は3時間もありませんでしたが、あっという間に過ぎてしまいました。閉会が近づくと会場のどこからともなく聞こえてくる話し声や、翌日以降に頂いたメールには盛会であったこと、この華やいだ宴が今回だけの集まりではなく、これからも続けてくれることを願い、楽しみにしているというメッセージでした。今まで何度も同期会を開催してきましたが、これまで感じる事のなかった熱い盛り上がりには驚きました。

もう一つ、同期から頂いた便りの中には自分の病気や家族の看病、介護のために出席を断念したことを訥々とですが、丁寧に書き記して下さった方が何人かいました。その言葉に何も力になることができず、虚しい気持ちになりました。しかしそれは私たちがこれからも再会しようとする気持ちを持ち続けることが来た人だけでなく、来れなかった人にも心の拠り所となって頂けるのではと思います。こうして集まり、語り合う機会を開き続けることが大切なのだと思う次第です。



19回卒業生 服部保弘

部活動表彰

【体操競技部】

- ◆令和6年度愛知県高等学校体操競技学年別大会
 - ・1年生女子個人選手権 3位
 - ・1年生女子種目別ゆか 2位
 - ・1年生女子種目別平均台 3位
 - ・1年生女子種目別跳馬 3位
 - ・1年生男子個人選手権 5位
- ◆第79回愛知県高等学校総合体育大会体操競技名古屋南支部予選会
 - ・男子チーム選手権 2位
 - ・女子チーム選手権 2位
 - ・女子個人選手権 優勝
- ◆第79回愛知県高等学校総合体育大会 体操競技2部（県大会）
 - ・女子チーム選手権 4位
 - ・女子個人選手権 3位
 - ・女子種目別跳馬 3位/ゆか 3位
- ◆令和7年度ハイスクールチャレンジカップ
 - ・男子種目別跳馬 優勝/個人選手権 6位
 - ・男子種目別つり輪 優勝
 - ・女子種目別ゆか 優勝/個人選手権 2位
 - ・女子個人選手権 4位
- ◆令和7年度愛知県高等学校新人体育大会 体操競技名古屋南支部予選会
 - ・女子2部チーム選手権 優勝
 - ・男子チーム選手権 2位
 - ・女子2部個人選手権 優勝
 - ・女子2部個人選手権 2位/3位/6位
- ◆令和7年度愛知県高等学校新人体育大会
 - ・男子チーム選手権 6位
 - ・女子2部チーム選手権 2位

- ・女子2部個人選手権 3位
- ・女子2部種目別跳馬 2位/ゆか 3位
- ・女子2部個人選手権 4位
- ・女子2部種目別段違い平行棒 2位

【水泳部】

- ◆第79回愛知県高等学校総合体育大会 水泳競技名古屋南支部予選会
 - ・男子100m 平泳ぎ 4位
 - ・男子200m 平泳ぎ 6位
 - ・女子4×100m リレー 6位
- ◆第79回愛知県高等学校総合体育大会水泳競技（県大会）
 - ・男子100m 平泳ぎ 7位（東海総体に出場）
- ◆第46回名古屋市内愛知県立高等学校体育大会水泳競技大会
 - ・男子200m 平泳ぎ 1位/100m 平泳ぎ 1位
 - ・女子100m 自由形 3位
 - ・女子総合 6位
- ◆第62回名古屋地区高等学校水泳競技大会
 - ・男子100m 平泳ぎ 3位
 - ・女子100m バタフライ 8位
- ◆令和7年度愛知県高等学校新人体育大会 水泳競技名古屋南北支部予選会
 - ・総合男子の部名古屋南支部 7位
 - ・男子100m 平泳ぎ 2位
 - ・女子100m 自由形 6位
- ◆令和7年度愛知県高等学校新人体育大会
 - ・男子100m 平泳ぎ 3位

【ラグビー部】

- ◆全国合同チームラグビーフットボール大会
 - ・U18東海代表選手として出場

【書道部】

- ◆第50回記念ふれあい書道展
 - ・特選（2点）
- ◆第41回成田山全国競書大会
 - ・日輪賞

【弓道部】

- ◆第46回名古屋市内愛知県立高等学校体育大会弓道大会
 - ・男子個人 2位
 - ・男子団体Bチーム 2位

【陸上競技部】

- ◆令和7年度名古屋南北支部学年別陸上競技大会
 - ・男子ジュニアやり投げ 6位
- ◆令和7年度愛知県高等学校新人陸上競技大会陸上競技名古屋南支部予選会
 - ・男子やり投げ 2位/3位
 - ・男子4×100m リレー 7位
- ◆第46回名古屋市内愛知県立高等学校体育大会
 - ・男子やり投げ 2位/3位
- ◆令和7年度名古屋南北支部学年別陸上競技大会
 - ・男子ジュニアやり投げ 6位

【ソフトテニス部】

- ◆第46回名古屋市内愛知県立高等学校体育大会
 - ・男子の部 3位

【テニス部】

- ◆令和7年度名古屋南地区高等学校テニス大会
 - ・男子シングルス

『英気の泉』より

皆様からお預かりしましたご厚意は中村高校の様々な場面で活かされています。その一部をご紹介します。

○部活動への助成金

ラグビー部において、第23回関西高校少人数ラグビー交流大会が2025年6月21・22日にあり、東海代表として2名の本校生徒が派遣されました。また第21回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会にて、全国各ブロックから選抜された選手による試合が繰り返される中、東海ブロックの代表選手として

2名の本校生徒が派遣されました。いずれの大会派遣において、英気の泉から助成金を活用させていただきました。

○教育の質の改善

教育の質を向上させるため、プロジェクタを全教室に配備しました。全部で9台のプロジェクタと27台のスタンドを英気の泉より助成させていただきました。教職員の設置の負担を減らして、授業の効率化を進め、より質の高い授業を生徒に提供できるようになりました。

卒業生中村職員紹介 — 部活動指導員*として活躍中のOBにインタビュー

57回生 船橋千歳 さん

中村高校には地元から離れ新しい環境に身を置くこと、部活でダンスをすることを目的に入学しました。創作ダンス部の活動にのめり込み、生活の中心は部活動でした。部員のことや作品のことなど、休みの日も部活のことばかり考えていました。部活以外では、1年生の時にできた仲良し4人組で3年間を過ごすことが多く、非常に楽しく過ごしていました。クラスの仲間内とテスト順位を競っていたので、勉強と部活と私生活のすべてを、全力で挑んでいました。部活動では部長を務めましたので、誰かを引っ張っていく大変さとともに多くの人の支えがあって、さまざまなことに挑戦できると気づけたことが、大きな学びです。

指導員をしていて1番最初に感じたことは、『部活動』に対する価値観の変化でした。コロナ明けから指導をさせていただいているので部員も、保護者の方も、学校も、すべて自身が学生の時とは違う考えを持っていました。その温度差に対して、自分は生徒たちになにができるのか、どうしてあげるといいのか、と思悩んだものです。毎年、その時の現役部員の様子を見て指導の仕方を変えています、向き合い、寄り添うこと。特に掛ける言葉の大切さを実感しています。指導員として、部活の先輩として、一社会人として。いろんな面で接しながら、これからも高校生たちをサポートしていけたらなと思っています。

部活の同期とは、年に一度のダンス公演に関連して一緒に作

品を作ったり踊ったりしています。また、1年生の時から仲良くしている子は親友として今も仲良くさせてもらっています。

数年、仕事の都合で中村高校ダンス部との関わりも薄かったのですが、たまたま久しぶりにダンス公演に戻ってきたタイミングで、指導員のお話をいただき今年度で4年目のお付き合いをさせていただいています。当時は社会人になってもダンスを続けるつもりは全くなく、誰かに教えるなんて夢にも思っていませんでした。当時は学ぶ身として、今は教える側として中村高校の門をくぐっていることに時々すぐったい気持ちになります。中村高校には、知り合いが居ない状態で入学しましたが人に恵まれ、何度も素晴らしい体験をすることができました。特に、自分の責任で物事に取り組む経験をたくさんさせて頂いたので、高校生活はとても良い思い出です。学校生活で得た恩は、今の高校生たちに寄り添い、指導という形で返していけたらと思います。

今回はこのようにありがたい機会をいただき、本当にありがとうございました。



*部活動指導員
愛知県教育委員会が部活動指導に関わる教職員負担の軽減のため運動部、文化部の指導者を学校外から招くもの。

令和6年度事業報告

◆令和6年度 中村会 役員

会 長	太田 守彦 (22回生)
副 会 長	水野 圭爾 (26回生 財務担当)
	加藤 伸夫 (26回生 総務担当)
	西村 憲一 (34回生 広報担当)
事務局長	山口有里子 (36回生)
会 計	門口 賢司 (27回生)
監 査	杉嶋 重男 (26回生)
	川口 恭子 (34回生)

◆令和6年度 中村会 事業報告

- 1 総会及び講演会の開催
- 2 会報の発行 (第22号)
- 3 HP の運営とその効率化の実施
- 4 役員会の開催
- 5 『英気の泉』基金の募集・運用
- 6 教養講座「中村未来塾」への協力
- 7 PTA との連携事業の推進
- 8 縦のつながりの増強活動
- 9 常任幹事の増強
- 10 関東支部の支部総会の実施
- 11 運営業務の効率化
- 12 『英気の泉』の法人化

令和6年度 中村会 決算報告

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額①	決算額②	差額②-①	備考
前年度繰越金	3,079,394	3,079,394	0	
入 会 金	1,490,000	1,480,000	-10,000	第70回卒業生296名×5,000円
戻し入れ金	0	0	0	
雑 収 入	6	0	-6	
計	4,569,400	4,559,394	-10,006	

支出の部 (単位：円)

科 目	予算額④	決算額⑤	差額④-⑤	備考
事 業 費	100,000	40,000	60,000	総会講演費
HP 運 営 費	100,000	66,000	34,000	CMS 使用料、HP 改訂作業等
通 信 費	20,000	4,814	15,186	料金後納
会 報 費	900,000	905,515	-5,515	会報22号印刷・発送・はがき印刷・諸作業
総会施設費	120,000	108,850	11,150	総会会場代
名簿管理費	100,000	55,000	45,000	データ管理、データ出力
諸 雑 費	10,000	2,860	7,140	振込手数料
慶 弔 費	40,000	0	40,000	
会 議 費	10,000	8,999	1,001	会議飲料代等
予 備 費	100,000	0	100,000	
次年度繰越金	3,069,400	3,367,356	-297,956	
計	4,569,400	4,559,394	10,006	

残高の部 (単位：円)

収入額計	支出額計	次年度繰越金
4,559,394	1,192,038	3,367,356

令和7年度事業計画

◆令和7年度 中村会 役員

会 長	太田 守彦 (22回生)
副 会 長	水野 圭爾 (26回生 財務担当)
	加藤 伸夫 (26回生 総務担当)
	西村 憲一 (34回生 広報担当)
事務局長	門口 賢司 (27回生)
会 計	山口有里子 (36回生)
監 査	杉嶋 重男 (26回生)
	川口 恭子 (34回生)

◆令和7年度 中村会 事業計画

- 1 総会及び講演会の開催
- 2 会報の発行 (第23号)
- 3 HP の運営とその効率化の実施
- 4 役員会の開催
- 5 『英気の泉』基金の募集・運用
- 6 PTA との連携事業の推進
- 7 縦のつながりの増強活動
- 8 常任幹事の増強
- 9 関東支部の支部総会の実施
- 10 運営業務の効率化

令和7年度 中村会 予算

収入の部 (単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
前年度繰越金	3,367,356	
入 会 金	1,540,000	5,000円×308名 (R7年度 第3学年71回生 4月時在籍数)
雑 収 入	44	
計	4,907,400	

支出の部 (単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
事 業 費	100,000	総会講演費
HP 運 営 費	100,000	CMS ライセンス料、HP 更新依頼料金等
通 信 費	20,000	料金後納 郵送費等
会 報 費	910,000	会報23号印刷、会報発送関連費 (発送費・封筒・ハガキ作成・諸作業等)
総会施設費	150,000	総会会場使用料
名簿管理費	100,000	SALATO メンテナンス契約料 (55,000円) 等
諸 雑 費	10,000	振込手数料
慶 弔 費	40,000	
会 議 費	10,000	役員会
予 備 費	100,000	
次年度繰越金	3,367,400	
計	4,907,400	

同窓会のご案内

令和8年度の同窓会総会は、母校中村高校にて行います。

日にち 令和8(2026)年5月16日(土)

内容 母校見学会、総会・講演会

※懇親会は会場を移動して名古屋駅周辺にて行います。

懇親会会場 エルホールダイニング 名古屋駅西口店
(中村区椿町10-5 サンタウン名駅椿 本館8階)

母校見学会は昨年も実施しましたが、皆さんが通われていた頃から変わっていないところ、変わったところ、また年代によって使われ方が違うなど、様々な発見があって大いに盛り上がりました!この機会に是非、ご参加ください。

■賛助会費納入のお願い

●賛助会費 入金先

郵便振替 00850-6-185948

中村高校同窓会 賛助会費

※振込手数料はご負担ください。

賛助会費とは、同窓会の活動を支える大事な収入源です。同窓生の皆さんに毎年2,000円または終身50,000円の会費納入をお願いしています。

本会報同封の2種類の振込用紙(郵便局に加えてコンビニでの納入も可能になりました)をご利用頂き、上記の口座へ納入をお願いいたします。

●賛助会費収支状況(令和6年度決算)

前年度繰越金	当年度収入	当年度支出	次年度繰越金
19,153,500	735,384	15,129,684	4,759,200

■同窓生で氏名・住所変更された方は事務局までご連絡ください。

事務局

TEL: 052-411-7760 (中村高校)

FAX: 052-413-5357 (中村高校)

E-mail: Web ページからご連絡ください。

■会報の発送について

会報は年1回、2月末に発行しており、賛助会費納入者および卒業回生の下一ケタを基準に5年に1度のサイクルで全卒業生の皆様に発送しています。今号は下一ケタが「6」「1」の回生が対象で、次号は「7」「2」の回生が対象となります。中村会ホームページでは毎号掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

■母校支援基金「英気の泉」への募金のお願い

●英気の泉 募金入金先

三十三銀行本陣支店 普通7009200

一般社団法人英気の泉 代表理事 太田守彦

※振込手数料はご負担ください。

母校支援基金「英気の泉」は、中村高校の在校生の諸活動に対する同窓会からの資金援助を行うための基金で、校歌の一節をとり、在校生の英気を資金面から援助する「泉」となっています。

最近では、在校生の海外短期留学や部活動の遠征交通費支援、部活動器具・道具の修理・購入などを行っています。

ぜひ在学生のためにこの泉を枯らさないように皆様のご厚志をよろしくお願いいたします。

●「英気の泉」収支状況(令和6年度決算)

前年度繰越金	当年度収入	当年度支出	次年度繰越金
1,128,732	11,985,677	453,053	12,661,356

●令和6年度援助事業

中村ダンスフェスティバル開催御祝、
グローバルフロンティア研修費補助、
部活動外部指導員報酬

●令和6年度寄付者等

伊藤義人様 他4名
15回生有志

■中村会ホームページ

<https://www.nakamurakai.jp/>

■中村会 facebook ページ

<https://www.facebook.com/nakamurakai.aichi/>